

神戸市立本山中学校 学校評価報告書

り学 の校 目づ 標く	笑顔と活気にあふれる学校 生徒の力を伸ばす学校 地域の拠点となり、地域とともに成長する学校					
内容		重点的な取組み	評点 (4段階)	特記事項 (学校自己評価)	関係者評価 (学校自己評価に対する学校運営協議会の意見等)	学校自己評価、関係者評価を踏まえた 次年度の重点的な取組みの案
育て たい 子 ど も の 姿	生徒の豊かな人間性と生きる力の育成に努める					
	自らの未来のために「今、ココ」を大切にする	一人一台端末を活用して個別最適な学習を実践する。	3	習得・活用・探求を見通した授業改善を図り、情報の収集・整理・分析を取り入れた学習活動に積極的に取り組んでいる。	小6と中1での学習評価に対するギャップが大きい。入学当初に保護者への丁寧な説明が必要ではないか。	一人一台端末の活用をさらに進めるとともに、保護者への情報発信も行っていく。
	互いを認め合い、仲間とともに課題を解決する	エンカウンター等のグループワークを通して他者理解を深める。	3	互いを認め合う学級活動や授業形態を取り入れることで、周りの人に優しく接する生徒の割合が増えている。	学校行事や特別活動を大切にしてほしい。地域行事の活用も有効である。	今年度に教職員が研修したグループワーク・エンカウンター等をさらに実践し、集団づくりを進めたい。
	自ら考え、あきらめずに粘り強く取り組む	主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業づくりを行う。	3	能動的に学習や部活動に取り組む活動を心がけているが、生徒の意識を変えるには至っていない。	今後もわかる授業づくりを目指してほしい。	授業や部活動で、生徒が自ら考え、行動する機会を多く設定し、主体的に学ぶ環境づくりを進めたい。
全 学 的 に 推 進 す べ き こ と	①いじめ防止対策に関する取組み	教育相談、いじめアンケートを実施し、早期発見に努めるとともに、解消に至る経過観察を行う。	3	組織的、継続的な指導・支援に取り組むことで、いじめの未然防止・早期発見・解決を図っている。	不登校につながらないように早期対応を心がけてほしい。	アンケート、生徒観察や情報交換を密にし、未然防止・早期発見に努めたい。
	②不登校支援の取組み	担任による面談などだけでなく、「梅っ子教室」、保護者対象の「梅っこセミナー」で支援する。	3	自校通級の「ここい教室」、不登校支援の「梅っこ教室」の体制を確立し、多くの教職員で見守ることを実践している。	受入体制はできている。効果のあるものにしてほしい。	オンラインや「まなびば」の活用と併せて幅広く対応していく。
	③教職員の業務改善	行事の精選、家庭訪問の希望制、会議のペーパーレス化等に取り組む。	3	様々な取組を行っているが、学校業務における時間的拘束や安全管理のため、十分な改善には至っていない。	行事の削減に取り組んでいるが、効果は出ているのか。行事の有用性も忘れないでほしい。	働き方改革による効果と生徒の意識向上のバランスに注意する。
	④「すぐー」の活用、ホームページにおける情報発信	情報をすばやく、わかりやすく伝えるように発信する。	4	HPを毎日更新し、「すぐー」でタイムリーに情報発信を行っているが、保護者のとらえ方とは差があるので、検討を重ねたい。	保護者と教職員の意識に差があるのが気になる。	行事予定に関しては、早めの発出を心がける。
	⑤学校生活のルールや決まり(校則など)について	生徒の意見を取り入れる機会を設け、適切な内容かどうかを確認する。	4	学校の決まりは生徒の意見を取り入れて検討しており、生徒が自分たちで主体的に考える取組を実践している。	生徒の主体性を育む機会としてほしい。	見直し、改訂だけでなく、事後の検証も行っていきたい。

【評点】 4：十分達成できた 3：おおむね達成できた 2：どちらかと言えば課題がある 1：課題がある